

精神科研修プログラム

I 一般目標 (GIO)

精神及び行動の障害に対して、適切な精神医学的判断能力及び問題解決能力を習得する。

II 行動目標 (SBO)

1) 基本的技能

- * 精神症状学

精神及び行動の障害の状態を、精神医学的専門性をもって客観的に記述できる。

- * 臨床脳波学

病像から基礎波の異常あるいは突発波の出現の可能性を推定し、目的をもった脳波検査を実施することができる。

- * 画像診断学

病像から頭蓋内占拠性病変、脳実質病変などの有無の可能性を推定し、目的をもった画像検査を実施することができる。

- * 臨床精神薬理学

基本的な向精神薬の作用機序を理解し、標準的な薬物療法を行うことができ、同時に副作用の対処法を習得する。

- * その他

精神保健福祉法、mECT、心理検査などへの理解を深める。

2) コンサルテーション・リエゾン精神医学

身体疾患のため他科に入院中の患者が精神症状を発現した場合に、精神医学的専門性をもって症状及び状態像を捉え、その機序を推定し、治療を行うことができる。

3) 救急精神医学

精神及び行動の障害の状態が救急を要する場合、その診断手順及び鎮静法について効果と安全性を考慮しながら、治療を行うことができる。

III 方略 (LS)

1) 指導医とともに入院患者の診療を行う。

2) 指導医とともに外来診療を行う。

3) カンファレンスに参加する。

4) 講義を受講する。

5) 必須症例レポートを提出する。